

議 事 録 ①	課長	課員	作成	発行	番 号	No. 1 / 5
					年 月 日	'2022年12月2日
					部 署	鯖江市 政策経営部 総合交通課

日時	'2022年12月2日(金曜日)	時 分 時 分 10:00 ~ 11:45	会議時間	1時間45分
会議名	令和4年度第2回 鯖江市地域公共交通活性化協議会		場 所	アライ鯖江・健康福祉福祉センター 多目的ホール
出席者	別紙(配席図)のとおり (計26名:事務局含む。随行者除く。)		主管部署	鯖江市 政策経営部 総合交通課
			原紙保管	鯖江市 政策経営部 総合交通課
			記 録 者	総合交通課 林

項 目	議 事 内 容
1 開会 2 会長挨拶	会長 佐々木市長より挨拶
3 委員の委嘱	<p>◎委員の委嘱について</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回協議会実施にあたり委員の方々に団体の職を異動された方もいるため、事務局よりご紹介させていただく。 公益社団法人福井県バス協会 専務理事 小林 博之(こばやし ひろゆき) 様 福井県交通運輸産業労働組合協議会 橋本 真樹(はしもと まさき) 様 一般社団法人鯖江観光協会 会長 永杉 宏之(ながすぎ ひろゆき) 様 鯖江商工会議所 専務理事 藤井 智正(ふじい のりまさ) 様 <p>以上4名が後任推薦書の提出があった委員の方々の報告である。</p> <p>また、第2回協議会より新たな団体として株式会社ハピラインふくい殿 総務企画部長の増田 賢和(ますだ まさかず) 様を構成員としたい。 今後北陸新幹線敦賀開業にあたりまして、令和5年度末に西日本旅客鉄道株式会社より株式会社ハピラインふくいに経営が引き継がれることとなり、鯖江市地域公共交通計画にて定めている事業をともに実施していくことが見込まれるため、本協議会設置要綱第3条の(1)、関係する活性化再生法第2条第2項の公共交通事業者等および組織する団体の代表者により、構成員として参画いただくところである。</p>
4 座長挨拶	座長 三寺座長より挨拶
5 協議事項	<p>◎協議第1号[令和4年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価の報告について]</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> [資料No. 1-1, 1-2, 1-3]の内、資料1-1を自己評価資料として委員の方々に説明。 <p>P1…当自己評価までの経緯。</p> <p>P2…昨年12月に策定した鯖江市地域公共交通計画を要約した資料。 鯖江市の目指す地域公共交通体系の姿を表している。</p> <p>P3…昨年度当協議会が実施した具体的な取り組みについて、今回の自己評価資料では『つつじバスの再編/運行』の事業について取り組んだ内容として報告する。 循環線の路線紹介、再編前の課題について説明。</p>

項 目	議 事 内 容
5 協議事項	<p>P4…循環線のパターンダイヤ化の詳細について説明。 P5…循環線以外の各地区路線の再編について、河和田線を抜粋して紹介。 P6…地域公共交通計画で定めている評価指標の目標値に対しての達成状況および考察の紹介。 P7～P8…各評価指標の目標を達成するために今後行っていく取組みの方針について説明。 P9～P12…中部運輸局 第3者評価委員会にて過年度いただいた二次評価結果について共有および対応状況説明。 P13…当協議会の主な年間スケジュール。 P14…地域公共交通計画に記載の各事業の実施スケジュール。</p> <p>五十嵐委員 →P6の考察部分には目標値に対して達成状況がどのように達成しているかが一目で分かるように記載した方が分かりやすいかもしれない。</p> <p>事務局 →承知した。発表を行う2月まで時間があるので、その部分については修正を検討する。</p> <p>三寺座長 →P6の達成状況については2月の発表まで時間があるが、最新の実績に更新は可能か。</p> <p>事務局 →更新可能であるので、可能な限り最新のデータで提出を行う。</p> <p>藤井委員 →P14の事業一覧について商工会議所として目標3「観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現」が気になるところである。来年以降には北陸新幹線敦賀開業や冠山道路開通など控えていることから二次交通の部分も考えていく必要があると感じたところである。</p> <p>三寺座長 →協議事項第1号について承認いただける委員の皆様は挙手をお願いします。</p> <p>～委員多数挙手～</p> <p>→委員の皆様多数承認とのことで協議第1号について協議が調ったこととする。</p>
6 報告事項	<p>◎報告第1号[鯖江駅東口等整備基本計画について]</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[資料No. 2-1, 2-2]の内、資料2-2の概要版を基に委員の方々に計画の内容説明。鯖江駅東口等整備基本計画は本年8月にパブリックコメント等も実施した上で策定したところである。今後整備事業を進めていくにあたり、鉄道施設に係る部分においては、国の鉄道総合改善事業という補助メニューの活用を予定している。その要件として関係団体により構成された協議会で策定された整備計画が独自に必要な。独自の整備計画策定にあたり、今回の協議会では報告事項として鯖江駅東口等整備基本計画について委員の方々に紹介するものである。 <p>堤委員 →駅周辺整備で期待される効果として新たな二次交通の創出とあるが具体的な考えが鯖江市としてあれば教えていただきたい。</p>

項 目	議 事 内 容
6 報告事項	<p>事務局 → まずは基本的に5ヵ年計画を立てたコミュニティバスをどのように活用できるかを検討 材料として認識している。観光面ではワンコインタクシーなどの企画を検討しているところである。市の主要施設と駅を結ぶようなイメージである。</p> <p>三寺座長 → 行政区域外となるが北陸新幹線の新駅との接続についても考えられていると考えてよろしいか。</p> <p>事務局 → 検討に含まれている。</p>
6 報告事項	<p>◎報告第2号[つつじバスの運行状況について] 【事務局】 ・ [資料 No. 3]を基にダイヤ改正後のつつじバスの各路線の利用実績および各路線から出ている要望について報告、共有の実施。</p> <p>三寺座長 → 5ヵ年計画の地域公共交通計画にてダイヤ改正を行い、通学便の整理、パターンダイヤ化して市民の方々に分かりやすく伝えることができるようになったのではと思う。色々な要望を吸い上げることも大事であるが、利用者の方々ライフサイクルを公共交通の方に合わせていく、それもひとつのまちづくりだと感じている。</p> <p>中谷委員 → 福井高専では学生および職員向けにつつじバスの利用状況や時間帯についてのアンケートをとって、事務局に送ったところである。</p> <p>三寺座長 → 市民からの要望の声として事務局は認識しているということではよろしいか。</p> <p>事務局 → アンケートの結果については受け取っているところである。</p> <p>三寺座長 → 令和5年度についてはダイヤ改正は行わないということで、まだ新ダイヤで1年間運行していないこと、北陸新幹線敦賀開業も控えていることから今は令和6年度のダイヤ改正に向けて各地区からの要望について丁寧に拾っていくという形で良いと思う。</p>

項 目	議 事 内 容
6 報告事項	<p>◎報告第3号[自家用有償旅客運送『ちょいボラ交通』の現状報告について]</p> <p>【地域公共交通鯖江】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[資料 No. 4]を基にちょいボラ交通の R4. 11. 30 までの利用実績について報告、共有の実施。 <p>三寺座長 → 運行3年目となるが苦勞されている点、乗り越えられない点などあれば教えて欲しい。</p> <p>地域公共交通鯖江 → 河和田地区に住む大半の方が高齢者なので、4月～6月のコロナ再拡大期には出控えなどが多く利用者増加に悩んでいた。またアプリでも予約ができる仕組みがあるが、ほぼ電話での予約が主のため電話対応の人員を最低でも1名は抱える必要がどうしてもある。それに反して利用実績はまだまだ少ないため、電話対応の方のお給料の面とアプリの使用料の面で支出がかさみ、収支がよくなる部分がある。</p> <p>五十嵐委員 → P2の利用実績についての資料内で利用目的 その他であるがこれはどのようなものか。また、P5のつつじバスとの連携については鯖江市も含めて利用者に向けて周知を行い、利用者拡大を図ることが必要である。P9の利用者実績については9月と11月に実績が落ち込んでいるが落ち込んだ理由などあれば教えて欲しい。</p> <p>地域公共交通鯖江 → その他については、交通結節点の駅や自宅に帰る際の使用があった。つつじバスとの連携についてはお買い物終わりに高齢者が重い荷物を持って帰る部分を補うラストワンマイルの交通手段としてPRしたいところである。落ち込んだ部分についてはワクチンの3回目接種が大きく関係している。また減ったといっても母数が少ないこともあり、大きく減ったわけではない。12月以降天候もよくない日が多くなるのでそういう時にこそ利用してもらえるようにPRを進めていく。</p> <p>五十嵐委員 → 登録者数が大きく伸びているが利用者数の伸びはいまいちであるが、登録だけして使っていない人が多いのか、ヘビーユーザーの方がいるのかその点分かれば教えて欲しい。</p> <p>地域公共交通鯖江 → 地区内運行300円に料金改定した際に周知ポスターを多く貼ったり、河和田地区の人が集まる場所で告知をすることに力を入れたことから、サービス自体を知ってもらい登録者が増えたところである。区長会の場では区長さん同士で一度サービスを利用してみようという動きもあり、そこから住民の方々にも広がっていくものと感じている。</p> <p>三寺座長 → その他の利用の中で交通結節点という話があったがその中でつつじバスのバス停は含まれていないか。</p> <p>地域公共交通鯖江 → 利用が無い状況である。</p> <p>三寺座長 → 使い方のイメージが湧いていない可能性があるため、使い方のポスターもあわせて必要</p>

項 目	議 事 内 容
6 報告事項	<p>かもしれない。一度使ってみると分かるものもあると思う。大事なのはリピーターをどう増やしていくかであるので、詳細な分析を引き続きお願いしたい。</p> <p>また、利用者の方々は免許を返納されている方が多いのかそうじゃない方が多いのか傾向などはあるか。</p> <p>地域公共交通鯖江 →老人会の方々の話を聞くと返納された方も返納していない方も利用している状況である。</p> <p>三寺座長 →可能であればそのような部分も加味した上で利用者促進策を行っていてもいいかもしれない。</p>
7 全体を通して意見等	<p>橋本委員 →今回が初めての協議会への参加であるが、つつじバスが神明駅を拠点として乗継利便性を向上したことを今回初めて知ったところである。</p> <p>福井でもイベントも開催が再開してきたこと、つつじバスとの接続向上もあるのか、福井鉄道の利用者数も増えてきている。鉄道については北陸新幹線敦賀開業に向けて福井鉄道(株)だけでなくえちぜん鉄道(株)や(株)ハピラインふくいと協力しながら利用者数を増やしていきたいと考えているところである。</p> <p>増田委員 →つつじバスが対前年比 110%ということでコロナ禍もあるが、バスの利用者が伸びていることは素晴らしいと感じた。ダイヤ改正の工夫が大きかったのだと思う。鯖江駅の改修については大幅な改修であることから多くの方々の期待があるところだと感じている。東口からの乗車による利便性の確保など非常に大きい意味を持っていると思う。まちづくりとの連携ということで鯖江駅を目的地としてきてもらい、活気のある工夫をしていきたいと考えている。</p> <p>藤原委員 →鯖江駅は鯖江市の顔ということで県内外からの玄関口になる。地理的な問題もあるかと思うが駅周りのお店も少ないため複合施設についてはきたいしているところである。</p> <p>藤井委員 →新たな二次交通としてオンデマンドの交通についても考えてほしいこと、ゼロカーボンシティを目指す中で公共交通についても電気自動車の導入など課題は多いかと思うが、今後委員の皆さんで協議をしながら進めていけたらと思ったところである。</p>
8 閉会	<p>三寺座長 → 以上で本日の議事は終了となる。第2回鯖江市地域公共交通活性化協議会を終了する。本日は慎重なご審議をいただき感謝する。</p>